

解剖訓蒙筋論

五



✕

k10-2

F⁵
カ-22

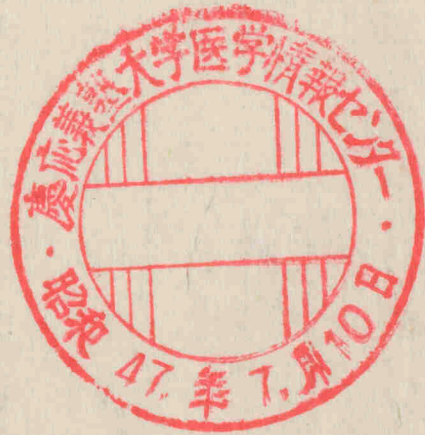
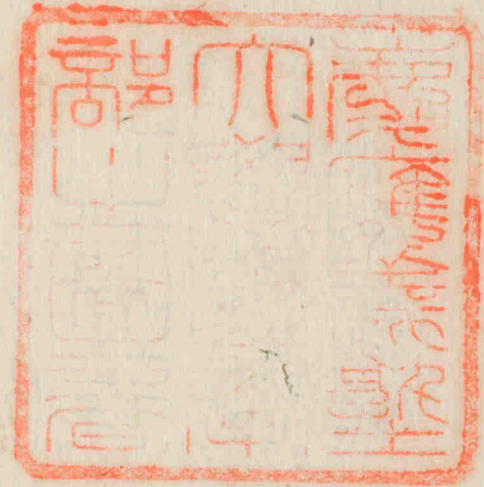


紅土印



491.1
Ka-3
5

No. 2391
12 K 10-2



富士川文庫

2451



解剖訓蒙卷之五

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著

日本 文部省出仕副嶋之純譯

筋論

頭及ヒ顔面

頭及ヒ顔面ハ頭顱ノ諸骨ヨリ成リ其内ハ窩窟
ヲ藏シ外ハ諸筋及ヒ皮膚ニテ覆ハル

頭^甲ド^乙ハ其前部ハ即チ^乙前頭^乙後部ハ即チ^丙後

頭^乙ビ^丙ト^丁側部ハ即チ顛顛^乙ナルナリ而テ甲ハ其下

方ハ眉毛ニテ界シ上方ハ頭皮ニテ界シ兩側ハ

甲 丸ビユト
乙 シンジビツト
丙 オツシヒキム
丁 ノロメビユス

富士川文庫

顛顛ニテ界シ、其中間ヲ額板ト稱セリ乙ハ、其后方ハ兩耳位ノ間ニ達シ、下方ハ頭ノ諸筋ニテ覆ハル丙ハ、其上方ハ顛顛骨、隆起線ニテ界シ、下方ハ顴骨ニテ界ス、

フシース、

顔面^甲フシエハ、其上方ハ前頭ニテ界シ、下方ハ下顴

ノ基礎ニテ界シ、兩側ハ兩耳位ニテ界シ、所謂額

板ノ下方ニ於テ、逐次ニ左ノ諸部ヲ列ス、曰ク鼻

根^ルル、ト、オ、フ、アリ、前頭ヨリ起ル、曰ク鼻背^乙オ、フ、

鼻柱^丙コ、ロ、ム、シ、オ、アリ、鼻孔ヲ分界

ス、曰ク^丁唇溝^{ラ、ヒ、ア、フ、}唇腭溝^{ラ、ヒ、オ、メ、ン、タ、}

乙 トルシム、ナシ、

丙 コロム、ナシ、

丁 ビルトリユム、

戊 ソルキユス、メントラヒアリス、

ソルキス、ナラビアリス、

一ハ上唇ニ在リ、一ハ下唇ト腮ノ間ニ在リ、而ノ

鼻背ハ鼻側^{サ、イ、ド、オ、フ、}ニ遷テ、其下方ハ鼻翼^{シ、ウ、}

ク、ス、オ、フ、一連ル、鼻翼ハ鼻孔ノ外壁ヲ成ス、口ハ

是レ截間ニシテ、其兩側ハ、上下兩唇ノ會合スル

處、即チ口角^{オ、ク、ラ、ル、ス、}ニテ界シ、上唇ノ兩側ハ、鼻^甲

唇溝^{ナ、ソ、ラ、ロ、ヒ、}ニテ界シ、其溝ハ多ク年齢ノ逝

進ニ随テ著明ナリ、眉^{ロ、ア、イ、フ、}ハ、其下方ニ眼瞼^{イ、ア、}

トアリ、眼瞼截間^{ル、ヒ、シ、}ハ、其上下ニ分界

ス、此截間ノ兩端ヲ眼角^{フ、ア、ル、}ト稱ス、頰^{ハ、}

其上下及ヒ前後ハ、顴骨、下顴角、下顴基礎、耳、腮、唇、

羊川川定

甲カビルリテム、

乙スポンヂリユス

及ヒ鼻ニテ限界ス、**耳**ハ其近傍ハ下脰角及ヒ頭
 ノ胸骨乳頭隆起ニ達ス、即チ之ヲ**耳下部**ト称ス、
 頭皮ルスカハ厚密ニシテ縮張ス可カラス、且ツ滿
 地毛髮ニテ覆フ、其深部ハ毛胞、汗腺、及ヒ皮脂腺
 ヲ含有シ、脂肪織ニテ結合ス、然レモ額及ヒ顛顛
 ニ於テハ薄フシテ縮張ス可シ、蓋シ毛髮ハ頭顛
 ノ中點、所謂**頂點**キスルチヨリ、漸次ニ螺旋状ニ擴
 張シテ放線セリ、
 頭ノ皮膚ハ短絛ナル結締織ヲ以テ、強ク密ニ額
 枕筋ニ附着シ、全ク此筋ノ發動ニ任了ス、獨リ額

ノミ額方ノ筋腹ノ収縮ニ由テ、横ニ皺襞ヲ生ス
 ヘシ、**脛**ノ皮膚ハ薄フシテ其底下ノ輪状筋ニ固
 着ス、而テ其結締織ハ脂肪ヲ含有セス、**鼻**ノ皮膚
 ハ其上方ハ薄フシテ運動スヘク、下方ハ厚密ニ
 シテ、多ク皮脂腺ヲ含有シ、直ニ其底下ノ部位ニ
 結合ス、**唇**ノ皮膚ハ厚フシテ滿地ニ鬚髯ヲ放在
 シ、其縁ハ甚タ薄フシテ、口唇輪状筋ニ密着ス、**腮**
 ノ皮膚ハ厚フシテ毛胞、皮脂腺、及ヒ汗腺ヲ含有
 シ、直ニ其底下ノ諸筋ニ癒着ス、**頰**ノ皮膚ハ薄フ
 シテ其部ノ諸筋ヲ被包スル、厚キ皮下脂肪織層

ニ密着シ、而テ咬筋ト、頰筋トノ間ニ於テハ、柔軟ナル脂肪ノ大塊ヲ填充セリ、頰ノ后部ハ、其皮膚、腮ノ皮膚ニ彷彿タリ、而シテ近傍ノ諸筋ニ着合セ

頭筋莢

頭筋莢ハ、頭中ノ諸部ニ於テハ、畢竟頭皮及ヒ顔面ノ諸筋ニ密着スル薄袍ト、皮下ノ脂肪層トニ他ナラス、唯タ顛顛部ニ於テノミ、特ニ一個ノ層ニシテ、其近圍ノ諸部ト分界スヘク、且ツ表深ノ二莢ヲ爲セリ、之ヲ以下ニ辨説ス、

甲
ハシステンポリス
ソフルヒシアリス、

表顛顛筋莢 ソポラルヒシアルテハ、最薄ヲシテ、顛

顛皮下ニ在ル、一箇ノ粗疎ナル纖維層ナリ、其上方ハ、額枕筋ノ腱膜ニ固ク附着シテ、此筋ト眼瞼輪状筋トノ二腹ヲ被包シ、且ツ耳郭諸筋、及ヒ表顛顛脈ヲ被包スル、薄キ結締織層ニ連合ス、

乙
ハシアテンポラリ
スプロホンダ

深顛顛筋莢 ラザル、スピテンポハ、光輝アル帯茶褐ノ

白色ニシテ、強剛ナル纖維膜ナリ、顛顛窩ノ曲境ト、額骨トノ中間ニ瀰満ス、其下部ハ、分歧シテ兩層ト爲リテ、粗疎ナル結締織ト、多少ノ脂肪トヲ間有ス、此筋莢ノ裏面ニ於テ、顛顛筋、其起點ヲ占

頭顱筋

甲 ムスクルス、オシヒト
フロントリス、

額枕筋

オシヒト、フロントリス、ハ、二個ノ筋腹ヨリ成

リ、腱膜ヲ以テ相連合シ、即チ後頭ヨリ前頭ニ達ス而テ枕方ノ筋腹ハ、短且ツ狹隘ニシテ、枕骨ノ上曲線ヨリ起リ、内方ニ上行シ、其腱膜部ニ達ス額方ノ筋腹ハ、其色、前者ニ比スレハ、稍ヤ青白ニシテ、額骨ノ内角突起、及ヒ眉線ヨリ起リ、上行シテ、其腱膜部ニ達ス、蓋シ此腹ヨリ延長シ、鼻根ニ於テ、鼻壓縮筋ニ達スル者アリ、尋常之ヲ一箇ノ筋

甲 ムスクルス、ピラミダ
リスナシ、
乙 ゼレ、アホ子オロ
チカ、カビチス、

ト做シテ、

三稜鼻筋

チロムサル、ミト稱ス、

額枕腱膜

オシヒト、フロントリス、ハ、腱纖維ノ薄キ板

様ニシテ、頭顱ノ一側ヨリ他側ニ連リテ、其上部ヲ被覆ス而、枕方ノ筋腹ノ間ニ在テハ、枕骨ノ結節ニ固着シ、兩側ニ在テハ、顱顱骨隆起線ノ近傍即チ表顱筋莢ニ癒着ス此腱膜、其底面ハ骨膜ニ附着スルヲ粗疎ニシテ、上面ハ皮膚ニ附着スルヲ親密ナリ、是故ニ額枕筋ノ機関ハ頭顱骨上ニ於テ、能ク頭皮ヲ前後ニ運動セシム、

眼瞼及ヒ眉諸筋

甲
ムスクルス、オビキムラ
リス、ス、ス、アラリユム

眼^甲 眼輪状筋 ビパル
キムラ
ブル、ム
スル、オ
ル、ハ、 眼窩ノ外端ヲ
周圍スル卵形層ニシテ、皮膚ノ直下ニ在リ、即チ
額骨ノ内角突起、上脰骨ノ鼻突起、及ヒ内眼瞼軟
帶ヨリ起リ、上眼瞼及ヒ眉位ヲ外行シテ、眼瞼ノ
截間下ニ廻轉シ、下眼瞼ニ内行シテ、其起點ニ返
ル蓋シ眼瞼ニ位スル部ハ、他部ニ比スレハ、薄ク
且ツ青白色ナリ、故ニ一個ノ筋ト做シテ、^ハ睫毛筋
シクリアリ、ムト稱ス爰ニ又タ淚骨ノ背部ヨリ生
シ、淚管ノ通路ニ沿テ、眼瞼上ニ達スル肉束アリ、
尋常之ヲ一個ノ筋ト做ス、殊ニ終世ノ「ホル子ル

乙
ムスクルス、シリアリ
ス

甲
ムスクルス、テンソ
ルタルシ、

乙
ムスクルス、レハトル、スレ
ム、アラリ、ソ、リ、オ、リ、ス、

丙
ムスクルス、ソ、ス、ル、シ
リ、アリ、ス

氏ニ於テ、此束ヲ^甲眼瞼軟骨張筋 テタル
ソ、ハ、ト稱シ
リ
此筋ハ、眼瞼ヲ閉チ、且ツ其皮膚ヲ内背ニ牽引シ
テ、放線状ヲ呈セシム、故ニ睡眠ノ間ニ於テ、睫毛
部、其作用ヲ持續ス、
上眼瞼^乙舉筋 ソ、ス、ル、
ト、ル、
ム、オ、
ス、ク、
エ、ハ、ハ、眼窩内ニ在
テ、視神經孔ヨリ起リ、眼窩上壁ノ下面ヲ過キテ、
廣腱ト為リ、以テ眼瞼軟骨ノ脊ニ附着ス、此筋ノ
作用ハ、其名稱ニテ推知スヘシ、
^丙皺眉筋 ソ、ス、ル、
リ、ム、
ス、ク、
ハ、ハ、眉隆起線ノ内端ヨリ起リ、

外方及上方ニ進行シテ、眼瞼輪狀筋、及口額枕筋ニ癒着シ、而テ此兩筋ト額骨トノ間隙ニ位セリ、

此筋、兩側共ニ収縮スルキハ、皮膚ヲシテ額、中央ニ會合セシメ、縦ニ皺襞ヲ生ス、即チ苦顏ノキニ於ケルカ如シ、

眼球及口耳諸筋

此諸筋ノ辨説ハ、姑ク其各篇ニ譲ル、

鼻諸筋

鼻^甲脣縮筋^ナハ、薄フシテ三角形ナリ、上脞

ムスクルス、コムラレソルナシ

骨ノ前部ヨリ起リ、鼻側ニ到テ分歧ス、鼻背ニ於テハ、薄キ腱膜ト爲リテ、他方ノ同名筋ノ腱膜ト會合シ、以テ鼻尖ニ固着シ、然リ而シテ額沈筋ヨリ起レル、一對ノ筋束ニ結合ス、

鼻^甲膨脹筋^ナハ、短矧ニシテ不明ナル筋纖維ヨリ成リ、鼻ノ翼軟骨ト皮膚トノ間隙ニ位シ、乃チ直チニ皮膚ニ癒着ス、

唇及口頰諸筋、

脣輪狀筋^ナハ、口圍ニ繞レル、卵形

纖維束ニシテ、其部ニ輻輳セル、諸筋ニ癒着ス、

ムスクルス、チラテトナルナリス、

ムスクルス、オルビクル、オリス、

甲 ムスクルス、シゴマチクス、

衡骨筋 ムシゴマクス ハ、兩個ニシテ狹隘ナリ、頰ノ

寂モ隆起セル部ヨリ、斜メニ下行シテ、口角ニ達

ス、即チ以下ノ二筋是ナリ、

乙 ムスクルス、シゴマチクス、マヨル、

大衡骨筋 チレク、ムシゴマクス ハ、小衡骨筋ノ外隣ニ

在リ、頰骨ノ衡突起ヨリ起リ、下行シテ、口角ニ到

リ、其近傍ノ諸筋ニ癒着ス、

丙 ムスクルス、シゴマチクス、ミノル、

小衡骨筋 マシモク、ムシゴマクス ハ、頰骨ヨリ起リテ、口

角ノ近傍ニ到リ、上層舉筋ニ癒着セリ、蓋シ其大

小及ヒ位置ハ、一定セス、時アリテハ、全ク喪亡セ

甲 ムスクルス、テフレソル、

リ此二筋ハ、口角ヲシテ、外方ニ舉上セシム、乃チ

欣笑ノキニ於ケルカ如シ、

乙 ムスクルス、レハトル、

下層沈筋 ダエ、ロフソル ハ、腮ノ側方ニ位シ

テ、四角形ナリ、下脣ノ基礎ヨリ起リ、内方ニ上行

丙 ムスクルス、レハトル、

シテ、下脣ニ附着ス、

下唇舉筋 ダエ、オラハトル ハ、繫帶ノ側方、即

チ下唇粘膜ノ直外ニ位シ、亦タ四角形ニシテ、細

小ナリ、下脣骨ノ外齧齒、及ヒ犬齒窩ヨリ起リ、内

方ニ下行シテ、下脣ノ基礎ニ附着ス、

丙 ムスクルス、テフレソル、

口角沈筋 オラハトル ハ、三角形ニシテ、腮

ノ側方即チ下脣ノ基礎ヨリ起リ、他方ノ同名筋
ト對合シ、共ニ口角ニ附着シ、而シテ其近傍ノ諸筋
ニ癒着ス、

頰筋ハ頰形ヲ助成スル者ニシテ、翼狀脣韌帶及
ニ兩脣ノ第一齒窩線ノ部位ヨリ起リ、其纖維
前方ニ進ミ、口角ニ輻輳シテ、互ニ交叉シ、以テ唇
輪狀筋ニ着合ス、

此筋裏面ハ口腔ノ粘膜ニ觸レ、表面ハ薄筋莖ニ
覆ハレ、後部ハ大ナル脂肪塊ヲ有ス、其塊柔軟ニ
シテ、近傍ノ組織ニ癒着スルヲ以テ、判然ト下脣

枝ヲ離隔セリ、而シテ上脣ノ第二齒窩ニ對シ、且ツ
耳下腺ノ管端來テ穿貫ス、此筋獨リ収縮スル
ハ、口吻ヲ潤開セシメ、唇輪狀筋ト共ニ収縮スル
キハ、頰部ヲ壓搾シテ、脣骨ニ切近セシム、但シ口
腔内ニ、外氣ヲ含容スレハ、乃チ又々収縮ス、噓吹
ノキニ於ルカ如シ、

此筋ト咽頭上収縮筋トハ、共ニ翼狀脣韌帶ヲ以
テ起點ト為ス、其帶ハ纖維帶ニシテ、蝴蝶骨翼狀突
起ノ外板ト、下脣骨ノ齒窩線ノ後端トノ間ニ瀰
漫セリ、

下脰諸筋 即チ咀嚼筋

咬筋 マ、ス、ク、セ、ト、ル ハ、厚キ長方形ニシテ、頰ノ後部

即チ頰骨ト下脰角トノ間ニ瀰漫シ、數多ノ腱状

帶ヲ以テ、其組織ヲ交錯ス、而メ分岐シテ、兩個ト

為リ、其纖維、各異ノ方向ヲ有セリ、即チ以下ノ二

部是ナリ、

此筋ノ表且ツ大部ハ、上脰骨、及ヒ頰骨ノ下縁ヨ

リ起リ、腱状ニシテ斜ニ後方ニ下行シ、下脰ノ角

及其枝ノ下部ニ附着ス、其深部ハ、顛顛骨ノ頰骨

突起ヨリ起リ、稍ヤ前方ニ下行シテ、下脰枝ノ上

ムスクルス、マ、セ、ト、ル

部ニ附着ス、

外翼状筋 エ、キ、ス、ト、ル、ム、ス、ク、ル、プ、テ、ハ 短且ツ厚キ三

角形ニシテ、蝴蝶脰窩ヲ領シ、蝴蝶骨ノ大翼ノ下

面、及ヒ翼状突起ノ外板ノ外面ヨリ起リ、輻輳シ

テ、短且ツ厚キ腱一為リ、下脰骨頸ノ前凹面ニ附

着ス、此筋ノ表面ニ於テハ、内脰動脈、及ヒ顛顛筋

ノ腱アリテ横行シ、裏面ニ於テハ、内翼状筋及ヒ

下脰神經ニ抵觸ス、

内翼状筋 ゴ、イ、ン、ド、ム、ス、ク、ル、プ、テ、リ、ハ 厚キ四角形ニ

シテ、下脰枝ノ所在部ニ位シ、翼状窩ヨリ起リ、外

ムスクルス、フ、テ、リ、ゴ、イ、デ、ウ、エ、キ、ス、テ、ル、ニ、ユ、ス、

ムスクルス、プ、テ、リ、ゴ、イ、デ、ウ、エ、キ、ス、テ、ル、ニ、ユ、ス、

後方ニ下行シテ、下腭ノ枝、及ヒ其角ノ内面ニ附
着ス、

顛顫筋 ムテソクポラルハ、顛顫窩ニ填實シ、顛顫筋莖

ニテ覆ハレ、顛顫窩ノ全面、及ヒ顛顫筋莖ノ上部
ヨリ起リ、其内部輻輳シテ、腱狀層ト為ル。此層ハ、

扁平ナル厚キ束ナリ、而シテ下行シテ、下腭骨ノ烏
啄突起ノ内面、及ヒ其前縁ニ附着ス、

以上ノ諸筋ハ、下腭ヲ舉上シ、兼テ之ヲ内外前後
ノ四方ニ運動セシム、乃チ下腭ヲ前方ニ牽引ス

ルハ、外翼狀筋、及ヒ咬筋ノ外部ニ由リ、後方ニ牽

ムテソクポラルハ

ムテソクポラルハ

引スルハ、顛顫筋、及ヒ咬筋ノ内部ニ由リ、両側ニ
牽引スルハ、内翼筋ノ更換シテ収縮スルニ由レ
リ、而シテ下齒ヲシテ、強ク上壓セシムルハ、顛顫筋
及ヒ咬筋ノ深部ノ収縮ニ由ルトス。蓋シテ下腭ハ、
獨リ其重力ニ由テ、下行スルナリ、爰ニ兩腹筋、及
ヒ下腭ト舌骨ノ間ニ、彌蔓スル諸筋アリテ、拏下
ヲ助クレルニ是レ下腭、其位ニ固定スルキノミナ
リ、

頸

頸 ト子ハ、圓管狀ノ短柱ニシテ、胸腔ト頭顱ノ聯結

ヲ為ス其長短及ヒ厚薄ハ每人同シカラス而
其骨軸ハ多ク後方ニ位シテ乃チ頭ヲ前方ニ下
垂セシムルニ適セリ

頸ノ前部即チ咽喉ニ於テ隆起アリ、諺ニ「アダ
ム」ト稱ス、是レ喉頭ニ由テ成ル者ナリ、此隆起
婚期以前ニハ發見セス、女子ニ於テハ生涯然リ
トス

頸ノ兩側ニ隆起アリ、耳後ヨリ降りテ、胸骨ニ達
ス、是レ胸骨乳頭筋ニ由テ成ル、又々胸部ノ直上
兩胸骨乳頭筋ノ間ニ窩アリ、頸窩 ル、ホ、サ、ト稱ス

甲
ホ、サ、エ、モ、ラ、リ、ス、

甲
ホ、サ、ソ、フ、ラ、ク、ラ、ビ、モ、
ラ、リ、ス、

又々鎖骨ノ上、肩骨乳頭筋ノ外ニ淺窩アリ、鎖骨
上窩 キ、ソ、フ、ラ、ル、ホ、サ、ラ、ビ、ト稱ス、頸ノ皮膚ハ薄クシテ

運動スヘシ、故ニ能ク延長シ、皺襞ヲ生シ易シ、殊

ニ老人ニ於テハ、腮ノ兩側ヨリ、頸ノ下部ニ達ス

ル、兩個ノ著明ナル皺襞アリ、是レ舌腭ノ齒牙脱

落シ、且ツ齒窩消亡シテ、下腭ヲ舉上スル、尚ホ

高キヲ以テ、及下頸筋ノ前縁、延長スルニ由レリ

皮下頸筋ノ底面ニ頸筋莖アリ、胸骨乳頭筋ヲ被
包セリ、

頸ノ中央、即チ頸椎ノ前方ニ、咽頭、胃管、舌根、舌骨、

喉頭、氣管、及ヒ甲^ア腺アリ、此諸部、兩側ニ緊要ナル頭ノ脈管、及ヒ神經アリテ、深頭筋莖中ニ被包セリ、

頸諸筋及ヒ筋莖

頸^甲皮筋

ルソ^フカ^キル^タハ^子ス^ウク^スル^セハ^廣且^薄ニシテ、青

白色ナル肉板ナリ、三角筋、及ヒ大胸筋ノ上部ヲ被包スル、結締織中ヨリ起リ、鎖骨ヲ越エ、頸ヲ内方ニ上行シ、下脰ニ到ル、爰ニ於テ、其前部ノ纖維ハ、他方ノ同名筋ノ纖維ニ結合シ、自餘ノ纖維ハ、腮ノ側方ニ附着シテ、下唇沈筋、及ヒ口角沈筋ニ

ムスクルス、フラス、ニオ井ドス、

甲^ハシ^アセ^ルヒカリス、

癒着シ、而テ最後部ノ纖維ハ、莖膜ト為リテ、咬筋、及ヒ耳下腺ヲ被包ス、爰ニ又タ微小ナル筋莖アリテ、頰部ヲ横行シ、咬筋ヲ越エ、口角ノ近傍ニ達ス、

此筋ハ、下脰ヲ掣下スルヲ助ク、然レモ其大要ハ、鎖骨ト下脰骨ノ間ニ於テ、皮膚ヲ緊張セシメ、以テ氣管、及ヒ脈管ノ外壓セララル、ヲ輕安セシム、

頸筋莖

頸^甲筋莖

ル^セル^ハシ^アカ^ハ、頸皮筋ヲ除去スル時ハ、乃チ

露出スル者ニシテ、其上部ハ、耳下腺、及ヒ下脰腺

リカメンチム、ステル
ロマキシルラール

ノ莢ヲ成シ、且ツ此兩腺ノ間ニ延長シテ、之ヲ離
隔セシム、其延長シタル部ヲ、甲錐頰腭靱帶口マキ
ガシラト、ト稱ス、此帶ハ、顛顛骨ノ錐頰突起ヨ
リ、下腭ノ角ニ達シ、其内方ニテハ、又々頰脈莢ニ
達ス、

此筋莢耳下ノ近傍ニ於テハ、咬筋ヲ被ヒ、下腭ノ
基礎ニ沿テ固着ス、又々頰ノ下部ニ於テハ、胸骨、
及ヒ鎖骨ノ上縁ニ沿テ固着シ、以ニ胸膛筋莢ニ
連合ス、又々頰ノ後部ニ於テハ、僧帽筋ヲ被包ス
ル纖維層ニ連合シ、且ツ前方ニ進ムニ隨テ、胸骨

ムスクルス、ステル
マスト非デウス、

乳頭筋、及ヒ舌骨喉頭舉筋ヲ被包ス

此筋莢ヨリ突起ヲ生セリ、内方ニ延長シテ、氣管、
喉頭、食道、及ヒ咽頭ヲ被包シ、大頰脈ノ莢ヲ成シ
テ、脊柱ノ前面ニ在ル諸筋ノ纖維袍ニ連合ス、其
他ニ又々突起アリ、兩翼狀筋ヲ分界スル者ニシ
テ、蝴蝶骨ノ棘狀突起ヨリ、下腭齒孔ノ内縁ニ達
シ、乃チ蝴蝶腭靱帶スリ、リノガメンシトヲ為セリ、

胸骨乳頭筋

甲胸骨乳頭筋 スド、タルノマストハ、頰筋中ノ最大且

ツ著明ナル者ニシテ、兩部ヨリ成ル、其一部ハ、扁

平ナル腱ヲ以テ、胸骨ノ上部ヨリ起リ、一部ハ、腱
 様且ツ肉様ニシテ、鎖骨ノ内部ヨリ起ル、故ニ兩
 部ノ起點ハ、三角ノ間隙ヲ以テ、互ニ離隔シ、鎖骨
 部ハ、殆ト鉛直ニ上行シ、肩骨部ハ、稍ヤ後方ニ上
 行シ、共ニ頸ノ殆ト中央ニ於テ、相會合シテ一個
 ノ肉腹ヲ為シ、以テ顛顛骨ノ乳頭突起ト、枕骨ノ
 上曲線ニ附着ス。此筋、兩側共ニ一時ニ運動スル
 中ハ、頭顛ヲ下垂セシメ、片側ノニ運動スル中ハ、
 顔面ヲ他側ニ回顧セシム、

舌骨及ヒ喉頭ノ諸沈筋

甲
 ムスクルス、ステルノ
 ハ井オ井デウス、

乙
 ムスクルス、ステルノ
 タ井ロ井デウス、

丙
 ムスクルス、タ井ロハ
 井オ井デウス、

胸骨舌骨筋
井ド、ムスノクハ、井オハ、扁平ナル带状ニ
 シテ、胸骨ノ上部ノ内面ト、鎖骨ノ近傍部ヨリ起
 リ、頸ノ内方ニ沿テ上行シ、舌骨ノ体ノ下縁ニ附
 着ス、

胸骨甲状筋
井ド、ムスノクハ、井オモ、亦タ帯形ニシテ、
 前筋ニ比スレハ廣シ、單ニ胸骨ノ上部ノ内面ヨ
 リ起リ、前筋ト氣管トノ間ニ上行シ、甲状軟骨ノ
 側部ニ到リテ、其斜線ニ附着ス、

甲状舌骨筋
井ド、ムスノクハ、井オハ、甲状軟骨ノ斜線
 ヨリ起リ、上行シテ、舌骨ノ下縁ニ附着ス、蓋シ胸

ムスクルス、オモハ井
オ井デウス

骨甲狀筋ヨリ、續發シタル者ナル可シ、
肩胛舌骨筋オモハ井ハ、兩腹ニシテ、其中間
ハ、腱ヲ以テ結合シ、鳥喙孔ノ近部、即チ肩胛骨ノ
上縁ヨリ起リ、胸骨乳頭筋ノ底面ニ至リテ、頸ヲ
横斜ニ過リ、舌骨ノ体ノ下縁ニ附着ス、此筋、其兩
腹互ニ鈍角ヲ為セ、其腱ニテ頸筋莖ニ結合ス
ルヲ以テ、収縮ノキト雖、位置ヲ保持スルヲ得
タリ、
此筋ノ作用ハ、舌骨及ヒ喉頭ヲ沈降スルノ他、其
位置ヲシテ、頸ノ中央ニ占據セシム、

ムスクルスチカスト
リキウス

舌骨及ヒ喉頭ノ諸舉筋
兩腹筋チカストハ、即チ兩腹ヨリ成リ、其中

ムスクルスステキロハ
オ井デウス

間、圓腱ヲ以テ相結合ス、後腹ハ、顛顚骨ノ二腹筋
溝ヨリ起リ、前腹ハ、下脛骨ノ縫合近部ノ内面ヨ
リ起リ、共ニ舌骨ノ側方ニ下行スルニ臨ミテ、彼
ノ圓腱、錐頰舌骨筋ノ着點ヲ穿通シ、而テ纖維狀
帶ヲ以テ、舌骨ニ固着ス、爰ニ又、薄層ノ腱膜、
リテ、纖維帶ニ連リ、各側ノ前腹ノ中間ニ瀰満ス
錐頰舌骨筋ステキロハハ、前筋ノ後腹ニ接
着シ、顛顚骨ノ錐頰突起ノ中央ヨリ起リテ、舌骨

甲
ムスクルス、シロハ井
オ井、デウス、

乙
ムスクルス、セニオハ
オ井、デウス、

側方ニ附着ス、此着點ニ於テ孔アリ、即チ前筋
 腱ヲ以テ穿貫セリ、
 腭舌骨筋 甲 ムスクルス、シロハ井 オ井 ハ、三角形ノ層ニシテ、他
 同名筋ニ會シ、口腔ノ床ヲ造成セリ、其起點ハ
 下腭ノ齒齶線ニシテ、其纖維斜メニ内方ニ進ニ
 腮ヨリ舌骨ニ到ル間タ、乃チ中線ニ於テ、他ノ同
 名筋ノ纖維ニ結合ス、
 腮舌骨筋 乙 ムスクルス、セニオハ オ井 デウス、
井 ゼ ド ハ オ ハ ス ク ル オ ハ、薄キ带状ニシテ、前筋
 ノ内部ト、腮舌筋トノ間ニ位シ、即チ腮結節ヨリ
 起リテ、他ノ同名筋ニ接着シ、共ニ下行シテ、舌骨

乙
ムスクルス、スカレニ
スアン、チキユス、

乙
ムスクルス、スカレニ
スメキユス、

、体ニ附着ス、
 舌、口蓋、咽頭、及ヒ喉頭ノ諸筋、
 此諸筋ノ辨説ハ、姑ク其各篇ニ讓ル、
 頸前部ノ諸筋
 前不齊筋 甲 ムスクルス、スカレニ スアン チキユス、
レ ア ン テ リ オ ル ス、カ ハ、頸側ノ下部ニ深
 居シ、頸椎ノ第三、第四、五、六片ノ横突起ヨリ起リ、
 下行シテ、肋骨ノ第一片ノ前部ニ附着ス、
 中不齊筋 乙 ムスクルス、スカレニ スメキユス、
ハ、常ニ頸椎ノ第一片ヲ
 除クノ他、其諸片ノ横突起ヨリ起リ、前筋ノ後方
 ヲ下行シテ、肋骨ノ第一片ノ後部ニ附着ス、以上

両筋ノ間タニ、腋下神經叢、及ヒ鎖骨下動脈アリ
テ通過ス、

甲
ムスクルス、スカレリス、
ホスチモス

後不齊筋 ホスチモス、カリレンテ、ムスクリ、スハ、小且ツ薄ニシテ、 頸

椎ノ下部ノ二片、或ハ其三片ノ横突起ヨリ起リ、

下行シテ、肋骨ノ第二片ノ後部ニ附着ス以上ノ

三筋、上部ヨリ運動スレハ、肋骨ヲ拏上シ、下部ヨ

リスレハ、頸ヲ固定セリ、

乙
ムスクルス、レクテス、カビ
ホスアンチモスマヨル

大直筋 レ、ト、ムチル、スルト ラハ、數個ノ腱頭ヲ以テ、頸

椎ノ第三四五六片ノ横突起ヨリ起リ、内方ニ斜

ニ上行シテ、枕骨ノ基礎突起ニ附着ス、

甲
ムスクルス、レクテス、カビ
ホスアンチモスマヨル

小直筋 ホスアンチモスマヨル ヲ以テ、頸椎第一片ノ側方

ヨリ起リ、内方ニ斜ニ上行シテ、前筋ノ着點ノ下

方、即チ亦タ基礎突起ニ附着ス以上兩筋ノ運動

ハ、頸ヲ屈セシム、

乙
ムスクルス、ロンキ
ス、ゴルリ

長頸筋 カ、ロ、ン、グ、セ、ク、ル、ハ 頸ノ側方ニ彌蔓シテ、其

造構甚タ錯雜ナリ、蓋シ此筋ハ、兩個ヨリ成ル、其

一箇ハ、背椎上部ノ三片ノ体ノ側方ト、頸椎下部

ノ三片ノ体ノ側方ヨリ起リ、上行シテ、其腱ヲ以

テ、頸椎ノ第四五片ノ横突起ニ附着シ、又タ腱状

及ヒ肉状ニシテ、頸椎ノ第二三四ノ体ニ附着ス

其一個モ亦夕腱ヲ以テ頸椎ノ第三四五片ノ横突起ヨリ起リ上行シテ前腱ニ結合シ頸椎ノ第一片ノ前部ニ附着ス此筋ハ頸ヲシテ前方ニ屈セシム

頸

頸ハ其皮膚及ヒ皮下ノ筋ヲ除去スレハ頸筋莖露出シ且ツ外頸静脈ノ下腭角ヨリ下行シテ殆ト頸ノ中央ニ達シ而ノ内陷シテ鎖骨下静脈ニ連合スルモ亦夕露出ス頸筋莖ノ表層ヲ除去スレハ胸骨乳頭筋アリテ胸骨ヨリ頸ヲ斜行シテ

乳頭突起ニ達ス此底下ニ肩胛舌骨筋アリテ其方向胸骨乳頭筋ト交叉シ亦夕頸ヲ斜行シテ舌骨ニ達ス蓋シ此筋ノ線ヲ延長シテ腮ニ達セシメナハ彼筋ト又字ヲ畫スルヲ以テ頸ノ側方乃チ四個ノ三角部ニ分界セリ以下之ヲ辨説ス後頸三角部カホルトテリアオルセルヒハ頸ノ後部ノ諸筋ヲ以テ填充ス

前頸三角部

カアルトテリアオルセルヒハ舌根喉頭氣

管咽頭及ヒ食道ヲ有ス而テ喉頭及ヒ氣管ハ其諸沈筋ニ由テ覆ハレ且ツ此諸筋ノ底下ニ甲状

腺アリ此三角ノ下部ハ即チ胸骨上ノ凹陷ニシテ是レ所謂頸窩ナリ、
 下頸三角部ハ鎖骨上窩ニシテ深層ノ頸筋莖ヲ除去スレハ鎖骨上水脈腺ヲ含有スル粗疎ナル結締織露出ス又々之ヲ除去スレハ此三角部乃チ鎖骨及ヒ第一肋骨ノ間ニ在ル深窩ニ達シ外方腋下ニ連合セリ此深窩ノ積ハ肩胛ノ位置ニ隨テ一定セス是レ肩胛ヲ拏上シテ後送スレハ深且ツ狭ト爲リ肩胛ヲ拏下シテ前送スレハ淺且ツ廣ト爲リテ其部ハ多ク判然タリトス此三

角ノ下部ニ肩胛上脈及ヒ横行頸脈アリテ横行シ又々外部ニ諸不齊筋アリテ頸椎ヨリ下行シ第一肋骨ニ達ス前不齊筋ノ着點ノ前方ニ鎖骨下靜脈アリテ第一肋骨ヲ通過シ前不齊筋ト中不齊筋トノ中間ニ鎖骨下動脈及ヒ腋下神經叢アリテ共ニ腋下ニ到ル

上頸三角部ハ下脰下窩ニシテ上部ニ下脰腺ヲ有ス此腺ハ深層頸筋莖ノ卵圓凹中ニ占居ス此筋莖ノ外部ハ下脰腺ト耳下腺トヲ分界スル者ニシテ是レ即チ錐顚脰靱帶ナリ又々此筋莖ヲ除

去スレハ、下腭腺ノ上方ニ、口腔ノ筋床アリ、此床ハ、腭舌骨筋ニテ造成ス、而シテ下腭腺ノ下方ニ錐頭舌骨筋、及ヒ両腹筋アリ、此三角部ノ外縁ニ外頭動脈アリ、此動脈、前方ニ向テ、逐次ニ下方ヨリ、上方ニ上甲狀動脈、舌動脈、及ヒ顔面動脈ヲ分出ス、爰ニ又タ舌下神經アリテ、兩腹筋ノ下方ニ於テ、此三角部ヲ曲線ニ横行シテ、其下行支ヲ舌骨ノ諸沈筋ニ分與ス

胸骨乳頭筋ヲ截除スレハ、大頭脈アリテ、韃中ニ蔵居シ、而シテ胸鎖骨ノ縫合部ヨリ、頭ヲ上行シテ、

下腭角ニ達ス、此管ヲ截披スレハ、普通頭動脈ハ、内側ニ在リ、内頭靜脈ハ、外側ニ在リテ、肺胃神經ヲ間入ス、而シテ又タ普通頭動脈ハ、喉頭ノ上縁ニ於テ分歧シテ、外頭動脈ト内頭動脈ニ成リ、甲ハ、上行シテ耳下腺ニ竄入シ、乙ハ、行路深沈ニシテ、顛顫骨ノ頸動脈管ニ達ス、爰ニ又タ大頭脈ノ後方ニ、交感神經アリ、其外側ニ、一鏈ノ水泳腺アリ、

胸膛ノ前部

胸膛ノ前面ヲ胸ト稱ス、兩側ハ、肩胛及腋下ニシテ、背ニ達シ終ル、上部即チ鎖骨下ニ於テ、淺凹アリ

リ、鎖骨下窩ト称ス、又々下部ノ中線ノ終リ、即チ
 胸骨ノ釵状軟骨ニ當テ凹窩アリ、胃窩ト称ス、下
 部ノ縁ハ、胃窩ヨリ下外方ニ向キ、即チ左右ニ斜
 行ス、胸ノ皮膚ハ薄ク、且ツ兩側ニ在テハ、延長シ
 テ皺襞ヲ生シ易シ、然レモ胸骨ニ在テハ、固ク密
 着ス、皮膚ノ底下ニ筋莖アリ、胸骨部ヲ除ク、他
 其層中、多少ノ脂肪層ヲ含有ス、又々此層ノ底下
 ニ薄筋莖アリ、以テ諸筋ヲ被包ス、蓋シ羸瘦家ノ
 胸ハ、胸骨肋骨ノ周縁ヲ露シ、力作家ノ胸ハ、表層
 筋ノ周縁ヲ呈シ、肥満家ノ胸ハ、半球形ノ隆起ヲ

ムスタルス、ペクトラ
 リス、マヨル

有ス、是レ即チ乳房ノ部ナリ、
 胸ノ兩側ニ、肩胛、及ヒ其諸筋アリテ隆起セリ、此
 筋、肥満家ニ在テハ、凸状ヲ顯ハセ、モ羸瘦家ニ在
 テハ、肩胛骨ノ周圍ヲ顯ハシ、且ツ其棘ヲ突起ス、
 胸腔ノ前部及ヒ側部諸筋

大胸筋 ラグル、ムスト、ペクト ハ、胸ノ上部ノ前面、及ヒ

腋下ニ填實スル者ニシテ、鎖骨ノ胸端部、胸骨ノ
 前面、肋軟骨上方ノ六片、及ヒ外科腹筋ノ腱膜ヨ
 リ起リ、其纖維、外方ニ進行シ、輻輳シテ廣腱ト為
 リ、以テ上臂骨ノ二頭筋溝ノ前縁ニ附着ス、此筋

ムスクルス、ハットラ
リス、ミノル

鎖骨部ニ於テハ、結締織ヲ填實セル間隙ヲ以テ、
他部ヨリ分界ス外部ハ、其腱ヲ以テ、自ラ重疊シ、
腋下ノ厚キ前層ヲ成ス、此装置ニ由テ、下肉束ハ、
上肉束ニ比スレハ、稍ヤ高ク上臂骨ニ附着ス、
小胸筋ラスモ、ムスル、ペルクトハ、前筋ノ底下ニ位シ、鋸
齒状ヲ以テ、肋骨ノ第三四五片ヨリ起リ、斜ニ上
外方ニ進行シ、其纖維ハ、輻輳シテ短腱ト爲リ、以
テ肩胛骨ノ鳥喙突起ニ附着ス以上ノ二筋、其大
ナル者ハ、上臂ヲ下前方ニ牽引シ、小ナル者ハ、之
ヲ補助シテ、肩胛ヲ同方ニ牽引ス此二筋共ニ、肩

甲
ムスクルス、ソブクラ
ヒウス、

乙
リガメン、ヒコスト
コラコイデウス、

丙
ムスクルス、セルラキ
スマクニスアンナモ
ス、

及ヒ上臂ヲ以テ、固點ト爲スルハ、肋骨ヲ拏上シ、
以テ呼吸ヲ安易ニス、
鎖骨下筋ンソ、ムスクラヒアハ、短腱ヲ以テ、肋骨ノ第
一片ヨリ起リ、鎖骨ノ下面ニ沿テ附着ス其外面
ヲ被ヘル、強健ナル筋莖アリ、之ヲ肝鳥喙膜トコ
ンラコレイド、ント云フ、鳥喙突起ノ末端ヨリ生シ、上
内方ニ放線シ、鎖骨ノ下縁、及ヒ肋骨第一片ノ前
端ニ沿テ固着ス、

大鋸筋テクレ、ムスト、セルハ、胸ノ側方ニ位セル、四
角形ノ廣層ナリ、稜角ナル鋸齒状ヲ以テ、肋骨

上八片、或ハ九片ノ中央近傍ヨリ起リ、後方ニ進
 ンテ、肩胛骨ノ基礎ノ内部ニ附着ス。此鋸齒状中、
 下方ノ五箇ハ、外斜腹筋ノ起点セル五部ト交錯
 セリ、而テ此内面ハ、肋骨及ヒ肋間筋ニ接シ、外面
 ハ、直ニ皮下ニ在テ、胸筋及ヒ潤背筋ノ間、即チ腋
 下ニ達ス、
 此筋ノ運動ハ、肩胛ノ全部ト、其骨トヲ前方ニ牽
 引ス、故ニ肩胛ヲ以テ、固點ト為ス。ハ、胸筋ヲ助
 ケテ、諸肋骨ヲ拏上シ、以テ胸腔ヲ闊大ニシ、且ツ
 呼吸ヲ安舒ニス、

甲
トルシユス

背

背^甲キベツハ、胸ノ後部ナリ、其外面ノ中線ニ沿テ長形

ノ窩アリ、背溝ト云フ、肥満家ニ於テハ、其兩側脂
 肪織集積シテ、溝益、深入シ、溝内ノ皮膚ハ、脊推ノ
 棘状突起ニ固着ス、

背ノ皮膚ハ、体中ノ諸部ニ比スレハ、薄且密ニシ
 テ、其底面、擴張スヘキ、長キ結締織ヲ以テ、諸筋ニ
 緩着セリ、乃チ游動スヘク、皺襞ヲ生シ易シトス

背ノ諸筋ヲ區別シテ、表層筋、深層筋トス、共ニ薄
 筋莖ニ覆ハルヲ以テ、諸長結締織ニ関與セサル

ナリ、而シテ甲ハ廣クシテ、上臂ヲ運動セシメ、乙ハ長且狹隘ニシテ、脊椎柱ニ沿ヒ、其溝ヲ填實シ、脊柱、及ヒ頭顱ノ直位ヲ維持ス、

背ノ表層諸筋

僧帽筋

△タラベジス、△スラクル、△ス

枕骨ノ上曲線、其結節、項窩

韌帶、及ヒ諸背椎棘状突起ノ尖端ヨリ起リ、輻輳シテ鎖骨ノ外部、肩胛骨頂ノ上縁、及ヒ其棘状突起ニ附着ス、蓋シ此筋ハ、兩側ヨリ相會合シテ、即チ僧帽形ヲ呈セリ、此筋、其結合ハ、諸背椎ノ棘状突起間ニ於テ、腱織

△スクルス、△タラベジス

△スクルス、△ラチス、△ミストルシ、△

維ヲ以テス、而テ下部ノ纖維ハ、上行シテ、肩胛骨

ニ近クニ随テ、腱ト為リ、肩胛棘ノ起根ノ三角面

ニ遊在ス、

此筋ハ、胸筋、及ヒ大鋸筋ノ呼吸運動ニ於テ、肩胛

ヲ固定ス、其上中下ノ三筋束、各異ニ収縮スルニ

随ヒ、肩胛ヲ上方、後方、及ヒ下方ニ牽引シ、肩胛ヲ

以テ固點ト為ス、其ハ、頭顱ヲ後方ニ牽引シ、只々

片側ノ之、収縮スル、其ハ、乃チ頭顱ヲ其片側ニ牽

引ス、

闊背筋 △ラチス、△ミストルシ、△ハ、薄キ腱膜ヲ以テ、背椎下方

六片ノ棘状突起、腰椎諸片ノ棘状突起、薦骨ノ棘状突起、腸骨脊ノ後部、及ヒ腰筋莖ヨリ起リ、廣濶ナル腹ヲ成シテ、外方ニ上行シ、乃チ胸膛ノ側方ニ沿ヒ、肩胛ノ下角ヲ越エ、上臂ノ後方ニ達シ、以テ背ノ下部ヲ填實ス、其經過中ニ、肋骨ノ下方三片ヨリ、筋束ヲ受ケ、爰ニテ輻輳シテ、廣腱ト成リ、上臂骨ノ二頭筋溝ノ後縁ニ附着ス、大圓筋ヲ廻轉スルニ方テ、腋下ノ後界ヲ成シ、其下部ノ束ハ、上部ノ束ニ比スレハ、高ク上臂骨ニ附着ス、此筋ト、肩胛下角トノ中間ニ、關節膜囊ヲ挿入シ、

甲
ムスクルス、ロムボ
井テウス、

且又其腱ト、大圓筋ノ腱トノ中間ニ、亦タ關節膜囊ヲ挿入ス、此筋ハ、上臂ヲ後方ニ牽引スルヲ以テ、胸筋ト共ニ、運動スレハ、或ハ樹ヲ攀チ、或ハ丁字杖ニ仗テ、歩行スルヲ主ルナリ、

菱状筋

ロムボムスクル、井ト、ハ、僧帽筋ノ底下ニ位シ、項窩

起リ、斜メニ下外方ニ進ミ、肩胛骨ノ棘ヨリ、下角ニ沿テ、其基礎部ニ附着ス、此項窩韌帶ヨリ起レル者ハ、屢狹隘ナル間隙ヲ有シ、背椎ヨリ起レル者ト、自ラ分畧セリ、故ニ小菱状筋、大菱状筋ノ名

甲
ムスクルス、レハトル
アンコリスカヒラル

乙
ムスクルス、セルラチ
ス、ホスチキス、シ、
リオル

丙
ムスクルス、セルラチ
ス、ホスチキス、井、
ン

アリ此筋ハ、肩胛ヲ後上方ニ牽引セリ、
肩胛角舉筋 カヒラトル、オン、グ、ル、ハ、 頸ノ側方ニ位

セル、厚肉束ヨリ成リ、頸推上方四片ノ横突起ヨ
リ起リ、下行シテ、肩胛骨ノ上角ニ附着ス、

上鋸筋 シ、薄腱ヲ以テ、項窩韌帶ノ下部、及ヒ背推上方三
シ、薄腱ヲ以テ、項窩韌帶ノ下部、及ヒ背推上方三

片ノ棘状突起ヨリ起リ、斜メニ外方ニ下行シ、爰
ニ於テ、稜角ナル鋸齒状ヲ成シテ、第二第三四五

肋骨ノ角ノ外方、即チ其上縁ニ附着ス、

下鋸筋 井、ン、ス、リ、オ、ル、ム、ス、ク、ル、ハ、 背ノ下部、即チ瀾背

筋ノ底下ニ位シ、薄腱ヲ以テ、背推下方二片、及ヒ

腰椎上方三片ノ棘状突起ヨリ起リ、斜メニ外方

ニ上行シ、亦タ鋸齒状ヲ成シテ、肋骨下方四片ノ

下縁ニ附着ス、此筋ト、前筋トノ間ニ、薄キ腱膜ア

リテ瀾漫シ、以テ伸筋ヲ被覆ス、

以上ノ兩筋ハ、其運動相反セリ、乃チ上鋸筋ハ、肋

骨ヲ拏上スルヲ助ケ、下鋸筋ハ、拏下スルヲ助ケ、

蓋シ共ニ呼吸機ヲ扶助スル者トス、

背深層諸筋、即チ頭顱軀幹諸伸筋

伸筋ハ、頭顱及ヒ胸膛ノ直位ヲ維持スル者ニシ

スリオル

テ、軀幹ノ後部ニ位セリ、即チ頭ノ側方一於テ、肋
骨ノ角ト、脊椎ノ棘状突起トノ間隙、及ヒ腰ノ側
方ニ填實シ、薦骨、及ヒ腸骨ノ稜角ナル間隙ニ達
ス。此筋ハ、僧帽筋、闊背筋、菱状筋、及ヒ鋸筋ノ底下
ニ在リテ、數多ナル肉束、腱束ヨリ成リ、且ツ其束、
多少直チニ結合ス、故ニ之ヲ分界スレハ、數筋、或
ハ多筋ト做シ得ヘシ、以下之ヲ辨説ス、

背伸筋 スドルサル、エキ ハ、脊椎柱ノ側方、即チ背溝

ヲ填實セル大筋ニシテ、其造構甚タ錯雜ナリ、乃
チ其肉束ト、腱帶ト、互ニ交結シ、多ク脊椎、及ヒ肋

ハスクルス、エキ
ス、ソル、ドルシ

骨ニ固着シ、殊ニ其下部ノ表面ハ、強韌ナル腱膜
ニシテ、數多ナル肉束ノ起點ト為レリ、

此筋ハ、薦骨上ニ於テ、尖状ヲ成シテ初マリ、腰部

ニテハ厚ク、背部ニ連ルニ隨ヒ、漸次ニ薄ク、又爰

ヨリ筋束加ハリテ、頸部ニ連達ス、而シテ薦骨ノ後

面、腸骨脊、後部、背椎下方二片、或ハ三片、及ヒ腰

椎ノ棘状突起ヨリ起リ、季肋ノ近傍ニ到テ、二箇

ニ分歧ス、其一ヲ長背筋、其一ヲ薦骨腰筋ト云フ、

以下之ヲ辨説ス、

長背筋 ス、ムスキスル、 ハ、所謂二箇中、内方ニ在ル

ムスクルス、ロンキ
ス、シムス、ドルシ

ムスクルス、サクロ、ロムバリス、

ムスクルス、スフレ、ニウス、

大ナル者ニシテ、腰背兩椎、諸片、横突起、背椎、上方、棘状突起、及ヒ肋骨、角ニ附着ス而シ、其背椎、横突起ヨリ生スル、副條ニ由ニ延長シ、以テ頭椎下方四片、或ハ五片、横突起ニ達ス、
 薦骨腰筋サクロ、ムスクル、ハハ、上行スルニ随ヒ、肋骨、上縁ニ當テ、副條ヲ受ケ、且ツ數箇ノ并列セル、
 腱ニ由テ、肋骨、角ト、頭椎下方四五片、横突起ニ附着ス、
 夾板筋ス、ムスクル、ハハ、頭椎後部、即チ僧帽筋、底下ニ位シ、背椎上方六片、棘状突起、項窩韌帶

ムスクルス、ゴム、レキ、ムス、

下部ヨリ起リ、斜ノニ上外方ニ進ニ、爰ニ於テ二箇ニ分裂シ、其一ハ、頭椎上方四片ノ横突起ニ附着シ、其一ハ、顛顛骨ノ乳頭突起、及ヒ枕骨兩曲線、中間ニ附着ス、

錯綜筋ムスクル、ハハ、背椎上方四片、或ハ五片、横突起、頭椎下方四片ノ横突起、及ヒ其關節突起

ヨリ起リ、上行シテ、亦々枕骨兩曲線ノ中間ニ附着ス、此筋、其半ハ、前筋ニ隱レ、上部ハ、横徑、腱織

ニテ、分裂シ、乃チ兩腹ト為ル、以上兩筋ハ、頭顛ヲ直位ニ保ツ、主要タリ、

ムスクルス、トラチ
ロマスト井デウス

解剖学 卷之五

頸乳頭筋 トラチロマストハ、背伸筋ノ上端ト、錯綜筋トノ間ニ位シ、狹腱ヲ以テ、頸椎下方四片ノ横突起ヨリ起リ、斜ニ外方ニ上行シ、胸骨乳頭筋及ヒ夾板筋ノ底下、即チ顛顛骨ノ乳頭突起ニ附着ス、蓋シ此筋ハ直チニ背伸筋ニ結合スルヲ以テ、其延長シテ、頭顛ニ達スル者ト做スヲ適當ナリトス、

ムスクルス、セミス、パ
井ナルリス、ドルシ、
エトゴルリ、

半棘筋 セミス、クパ、井ナハ、背伸筋及ヒ錯綜筋ノ底下、即チ背椎及ヒ頸椎ニ於ケル横突起ト、棘状突起トノ間ニ、斜達セル肉束、及ヒ腱束ヨリ成ル者

甲
ムスクルス、セミス
パ井ナリス、ゴルリ
ムスクルス、セミス
パ井ナリス、ドルシ

丙
ムスクルス、ミルチ
ヒ左ス、ス井

ニシテ、背椎ノ下方一片、或ハ二片ヲ除クノ他、諸片ノ横突起ヨリ起リ、背椎上方五片ノ棘状突起ト、頸椎下方五片ノ棘状突起ニ附着ス、此筋時トシテハ、上下ノ二部ニ分了シ、更ニ之ヲ頸半棘筋 セミス、パ井ナリス、キム 背半棘筋 セミス、パ井ナリス、ム スクル、オ、フ、左、右、ム、ツ

分裂筋 ミルチ、ヒ左ス、ス井 ハ、半ハ前筋ノ底下ニ隠

伏シ、短且ツ斜ナル無数ノ束ヨリ成リ、薦骨ヨリ頸椎第二片ノ横突起、及ヒ關節突起ニ至ルマテヲ、起点ト為シテ、其近傍ノ棘状突起ニ達ス而シテ

解剖学 卷之五 三十一

甲
ムスクルス、井ンテ
ルスパ井ナルス、

乙
ムスクルス、井ンテ
ルタランス、ルサ
リ、

此筋束ハ、長短各、差異アリ、乃チ脊椎ノ二片間ニ
 達シ、或ハ三片間ニ達スルアリ、或ハ稀レニ四五
 片間ニ達スルアリ、
 以上兩筋ハ、脊柱ノ伸筋ナリ、
 棘間筋 ナ井ルン、ムテルス、クスパ井ハ、 脊椎ノ諸棘状突起ノ
 隣接間ニ、相ヒ對居セル短束ヨリ成リ、頭部ニ於
 テハ、善ク發育シ、背部ニ於テハ、常ニ缺亡ス、
 横間筋 左井ルン、テ、ムル、スタラ、ン、スハ、 亦タ横突起ノ隣接
 間ニ、填實セル短束ヨリ成リ、頭部ニ於テハ、重複
 シテ發育シ、背部ニ於テハ、稍ヤ萌生シ、腰部ニ於

甲
ムスクルス、レクモ
ス、マヨル、

乙
ムスクルス、レクモ
ス、ミノル、

丙
ムスクルス、レクモ
ス、ラテラリス、

丁
ムスクルス、オフラ
井、コリス、カヒチス、

テハ、又タ著明ナリ、
 以上兩筋ハ、共ニ脊椎柱ヲ伸ルヲ助ク、
 大直筋 ト、ム、ダ、ス、ク、ル、レ、 ハ、腱状ニシテ、頸椎第二
 片ノ棘状突起ヨリ起リ、上行シテ、枕骨ノ下曲線
 ニ附着ス、
 小直筋 レ、ス、ト、ム、レ、ム、ス、ク、ル、ト、 ハ、頸椎第一片ノ萌芽棘
 状突起ヨリ起リ、枕骨下曲線ノ下部ニ附着ス、
 側直筋 ト、テ、ム、ラ、ス、ク、ル、ト、 ハ、頸椎第一片ノ横突起
 ヨリ起リ、枕骨横突起ノ線ニ附着ス、
 上斜筋 ラ、井、ク、ム、オ、ル、ク、オ、ル、 ハ、頸椎第一片ノ横突起

シベリオル

甲
ムスクルス、オフラ
井、コリス、カヒチス
井、ンズリオル

乙
ムスクルス、井、ンテ
ル、コスタリス、

端ヨリ起リ、斜メニ内方ニ上行シテ、枕骨兩曲線
間ノ外方ニ附着ス、

下斜筋 甲 井、ンズリオル、ムスクルス、オフラ ハ、頸椎第二片ノ棘状

突起ヨリ起リ、斜メニ外上方ニ進テ、頸椎第一片
ノ横突起端ニ附着ス、

以上五筋ハ、頭顱ヲシテ、直位ニ維持セシメ、而ノ
其二筋、即チ大直ト下斜トハ、頸椎第一片ト頭顱

トヲシテ、相共ニ頸椎ノ第二片上ニ廻轉セシム、
肋骨諸筋

肋間筋 乙 井、ンテ、ムスクルス、ハ、胸ノ兩側ニ對居シ、各十

甲
ムスクルス、井、ンテ
ル、コスタリス、エキス
テルニ、

乙
ムスクルス、井、ンテ
ル、コスタリス、井、ンテ
ニ、

一箇ニシテ、乃チ諸肋骨ノ間ニ填寫シ、短キ肉織
維及ヒ腱纖維ノ兩板ヨリ成リ、諸肋骨及ヒ諸肋
軟骨ノ相對スル縁間ニ彌蔓ス、此筋ハ、内外兩個
アリ、之ヲ以下ニ辨説ス、

外肋間筋 甲 ル、エキス、タル、ムナスル、井、ンテ、ハ、諸肋骨ノ結

節ヨリ始リ、其纖維、斜メニ下前方ニ向キ、諸肋軟
骨ノ中間ニ到リ、薄キ腱膜ト為リテ終ル、

内肋間筋 乙 井、ンテ、タル、ムナスル、井、ンテ、ハ、肋軟骨ノ胸

骨端ヨリ起リ、其纖維、下後方ニ向キ、前筋ノ纖維
ト交叉シ、而シテ、肋骨ノ角ニ到リ、薄キ腱膜ト為リ

テ脊椎柱ニ達ス、蓋シ屢此筋ノ纖維束、肋骨ノ内
面ニ於テ、其二個、或ハ三個ノ間隙ヲ兼越スルコ
アリ、

以上兩筋ノ間ニ於テ、肋間脈、及ヒ神經、其通路ヲ
為セリ、而シテ内肋間筋ハ胸膜、外肋間筋ハ胸筋、及
ヒ大鋸筋ニ抵觸ス、

胸骨肋骨筋 胸骨ノコルハ、其蔓延、及ヒ附着ニ

於テ一定セス、但シ胸腔ノ前壁中ニ位シ、薄キ腱
膜ヲ以テ、胸骨下部ノ内面、及ヒ肋軟骨ノ胸骨端
ノ内面ヨリ起リ、其纖維上外方ニ放線シ、指狀ヲ

胸骨ノコルハ、其蔓延、及ヒ附着ニ
於テ一定セス、但シ胸腔ノ前壁中ニ位シ、薄キ腱
膜ヲ以テ、胸骨下部ノ内面、及ヒ肋軟骨ノ胸骨端
ノ内面ヨリ起リ、其纖維上外方ニ放線シ、指狀ヲ

甲
ムスクルス、レスト
ルスコスタルム、

成シテ、殊ニ肋軟骨ノ第二片ヨリ、五片ニ附着ス

肋骨舉筋 肋骨ノコルハ、其蔓延、及ヒ附着ニ

伸筋ノ底下ニ位シ、各十二個ニシテ、狹隘ナル束
ヨリ成リ、腱狀ニシテ、脊椎末片ノ他、其諸片ノ横
突起、及ヒ頸椎末片ノ横突起、末端ヨリ起リ、斜

メニ外方ニ下行シ、其纖維放散シテ、近傍ニ在ル
肋骨ノ角ト、其結節トノ間ニ附着ス、而シテ此十二
個中ニ於テ、下方ニ在ル者ハ、倍加セル束ヲ以テ、

其起點ノ下方、第二位ノ肋骨ニ送ル、此筋ハ、上鋸
筋ト共ニ、諸肋骨ヲ舉上シ、前筋ハ、下鋸筋ト共ニ、

諸肋骨ヲ拏下スルカ故ニ、是等ノ諸筋ハ、呼吸機
ノ根原ヲ、補勢スル者トス、
兩肋間筋ハ、運動スルニ於テ、初肋、或ハ季肋ヲ以
テ、強ク固點ト為スニ從ヒ、總肋骨ヲ舉上シ、或ハ
拏下ス。是故ニ不齊筋ニテ、肋骨ノ第一及ヒ第二
片ヲ舉上スル片ハ、兩肋間筋、乃チ總肋骨ヲ舉上
シ、四角腰筋ニテ、季肋ヲ拏下スル片ハ、兩肋間筋、
乃チ總肋骨ヲ拏下ス、

解剖訓蒙卷之五終

